

地域密着型サービス 令和 5 年度第 5 回運営推進会議報告書

事業所名称… グループホームやつかの郷
 サービス種類… 認知症対応型共同生活介護
 会議開催日… 令和 5 年 12 月 18 日 10:30～
 開催場所… グループホームやつかの郷本館
 出席者

事業所	3 人	利用者	1 人
利用者家族	2 人	地域代表者	1 人
松江市職員	人	包括支援センター	1 人
知見を有する者	1 人	その他 ()	人

運営状況報告

◎利用者状況 入所者 18 名 …東ユニット 9 名（男性 2 名、女性 7 名）、
 …西ユニット 9 名（男性 1 名、女性 8 名）

全体平均年齢 89.4 歳（前回 88.8 歳）東平均 87.9 歳、西平均 91.0 歳

年 齢	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～
男 性	0	0	0	1	0	1	1	0	0
女 性	0	0	0	1	1	4	4	3	2

全体平均要介護度 2.0（前回 2.4）東平均 2.2 西平均 1.8

要介護度	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
男 性	0	0	2	1	0	0
女 性	0	6	4	5	0	0

議題

1. 活動状況報告

○研修報告

11 月【救急救命講習】11/24

消防署職員を招き、心肺蘇生法等学んだ。コロナウイルス感染症が 5 類におりてからの久しぶりの開催となり、新入職員を始め改めて非常時の対応を学んだ。

12 月【高齢者虐待について③】12/4

職員が車いすに乗る側になり、普段やりがちな介助や声掛けをせずに介助する事での利用者側の気持ちを学んだ。実際に乗ってみて「普通のスピードで移動しているが、乗っていると体感が違って速いと感じた」「声掛けなしで動き出すとびっくりする」等の意見が聞かれ、今後の移動介助にも注意しようという声が上がった。

○行事報告

11月【ストレス発散!!風船バレー、体操、カラオケ】11/13

準備体操を行い、風船バレーや、18人全員で囲めるくらいの大きな布にボールを置き、ボールを落とさない様に布を上下に動かす、というゲームを行った。普段体が痛いと言われている利用者も、痛みを忘れて楽しまれていた。

12月【クリスマス会】12/8

ビンゴゲームや箱の中身を当てるゲーム等行った。ケーキも食べられて「良かった」と喜ばれていた。

○避難訓練

【本館新館合同避難訓練】10/31

日中、地震発生し新館倒壊の危険という設定で、被害状況の確認や職員全員への連絡網、新館利用者が本館に避難を行う等の行動を当日出勤の本館、新館職員が協力して行いスムーズに避難が出来た。実際に災害が起きた時に、慌てず落ち着いて行動できるよう普段の訓練の大切さを学んだ。

これまでのところで質問や意見、感想はないか尋ねると

家族「毎回研修しているのはすごいと思う。」

包括「毎回しっかり研修が出来ていると思う。避難訓練がスムーズにできていてすごいと思う。」

という感想が聞かれた。

○研修

【見えない身体拘束「スピーチロック」事例】

「スピーチロック」が起こる介護職の背景と心理について、実際によくある対応について話す。「家に帰りたい」「食事を食べていない」と訴える利用者にもその場しのぎの対応になってしまう時がある。認知症についての研修を定期的に行っているが、認知症についての知識を持っていても根拠に基づいて支援を行うことは難しい。

この事に対する意見、感想

知見者「帰りたいという人を止めるのは難しい。「ちょっと待って」という言葉も場合によってはスピーチロックになる為違う言葉を使うようにしている。介護スタッフが足りず、利用者一人にゆっくり対応できないというのはどこの施設でも一緒だと思うので気持ちはよく分かる。」

家族「皆さん大変だと思います。よろしくお願いします。」

包括「その場しのぎの対応になり難しい場面だと思う。」

地域「難しいと思う。」

家族「普通に生活していても難しい。言い換えて自分でもやらなくちゃいけない場面があるけど、忙しいとイライラしてしまうので大変だと思う。」

という感想が聞かれた。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○